

# 桜船会だより

三菱電機大船地区定年退職者の会

第 55 号

発行日 2025.12.19

発行者 桜船会

発行責任者 木村允紀



「富士赤照」・・・私のサプライズな風景

提供 安西 良矩 氏（会員）

いきいきライフ：わりと本格的な金継ぎにはまっています

いきいきライフ：三菱電機卒業後の今を生きる

いきいきライフ：人生初！豪華客船の旅

いきいきライフ：映画の醍醐味「西部劇」

活動報告：第 33 回総会及び春の懇親会の報告

行事報告：鴨川シーワールドの見学と昼食会

表紙写真：「富士赤照」・・・私のサプライズな風景

会員動向・編集後記

原 正樹

沼田 孝治

田口 彰一

山崎 広義

事務局

行事班 田口 彰一

安西 良矩

事務局・編集班

2017年から本漆、純金を使った金継ぎに取り組んでいます。現在30個近い数の器を修復済み、または修復中です。始めたきっかけは2点あり、そば猪口を買ったその日に割って悔しかったこと、退職して時間が増えたことです。合成漆ではなく本漆を使った本格的な金継ぎをやりたいと考え、金継ぎ教室を探しました。一方大手通販サイトに「かぶれない漆入り金継ぎ修理セット」というのがあり、「かぶれない」という言葉に惹かれ初心者向きと考え購入しました。You Tubeを教材にして自分で勉強します。購入してわかったが、販売元が「かぶれない漆」を使った金継ぎ教室を開講していて、セット購入者は格安で参加できこれに参加しました。



左：金継ぎの完成品  
右：かぶれ防止のための重装備。メガネは拡大ルーペ。

1回目は割れの修復、2回目は欠けの修復と前回補修した器への金蒔きの講習でした。この教室で2回、2ヶ月空けて受講しましたが、講師の先生に「次も同じ内容なので受講は不要、自分で工夫してやってみなさい」と言われ、その後、自分で色々やってみました。わからないことも多く、そのたびにメールで質問をしましたが丁寧に教えていただきました。

参加者は私くらいの年齢の方も多く、外国の方もいらっしゃいました。面白かったのはお蕎麦屋さんです。商売で使っている食器の欠けたところを金継ぎで補修するようでした。この金継ぎ教室は感染症の影響で現在は中断しているようです。

金継ぎといっても金で接合するわけではなく、小麦粉を水で練ってこれに漆を混ぜて接着剤を作り接合、その上に金で加飾をします。

漆の硬化(乾燥)は、漆液中の「ラッカーゼ」という酵素の触媒作用で主成分「ウルシオール」の酸化重合により起こります。このラッカーゼの機能を十分に発揮させるためには適度な温度(20℃~25℃)と、

湿度(70~90%)が必要です。また、乾燥に適した湿度を80%前後に保持するのは難しいので「ムロ」に入れます。私のムロはダンボール箱の底にトレイを置き、キッチンペーパーを水に浸し、その上に金網を置いて湿気が上がるようにしたもので、そこに漆で補修した器を置いています。温湿度計を箱に取り付け、蓋を開けずに中の温度/湿度が確認できるようにしました。この自作のムロはなかなか気に入っています。ムロでは乾燥までに2~10日を要します。

さて、日本には「もったいない」という言葉があり、この言葉は、ノーベル平和賞のワンガリ・マータイさんが「MOTTAINAI」として、世界中に広げました。金継ぎも「もったいない」からくる伝統的なリユースの概念です。しかし、ただ単に壊れた器を修理して使うだけでなく修理した部分を金や銀などで加飾し、新たな美を生み出すという日本の繊細な伝統技法です。日本で15世紀に始まったとされます。大変奥が深く、面白いです。はまりました。

始めてみて金継ぎの書籍やWebサイトをみても「これが金継ぎ」という知識に行き着かず、わからないことばかりでした。数年前、京都を旅行した時に、老舗の漆屋さんに買い物で立ち寄った際、立ち話で職人の方から伺った話に初めて納得しました。金継ぎの金は、金箔を粉にした「消粉」ではなく金を丸く整形して粉にした「丸粉」を使うこと、更にこの表面を削って光らせるということです。その実現には追加で数工程が必要ですが丈夫な金継ぎができます。これが匠の技、伝承の知識だと改めて感じました。



道具作りも面白いです。筆やヘラを置く台を工夫して作ったり、色々な長さや幅の竹ベラを作ってみてどのサイズやしなり具合が自分に合っていて使いやすいか検証したりもしました。楽しんでやっています。

1970年（昭和45年）旧大船製作所に入社してから、47年間三菱電機グループにお世話になり、その後今日までの8年間、途中コロナ騒動に翻弄されながらもなんとか年齢相応の生活ができていると自負している。

今は二人の子供が結婚独立して、妻と二人暮らしである。妻は義弟が経営する会社の事務を手伝っていることもあり、私は家事を手伝いながら趣味とパートでの仕事を日常としている。

今回は私の生活ぶりを紹介し、どのようにして健康維持しているのかをご覧ください。幸いである。

### 【家事】

これは説明するまでも無く、日々の洗濯、掃除、買い出し、家屋の管理、妻の職場までの送迎等など一切である。（料理だけは妻がほぼ全てを担当）

### 【仕事：パートタイマー】 老化防止策の一環とも

#### ①銀行でのロビー案内

コロナ騒動前、横浜市内の銀行にてロビー案内業務を約1年間勤めた。行員の札束を跨ぎながら仕事をする職場環境への驚きと、客の横柄な態度に接し、世の中様々な人間がいることを実感した。

#### ②介護施設での居室清掃

2024年4月から鎌倉六国見山麓にある介護付き有料老人ホームにて入居者の居室清掃に従事している。

仕事探しの条件（職場の冷暖房完備、週2日1日4時間以内勤務、車通勤可能）に見事にヒットしたことで即決。年齢制限も無くやる気次第との事で採用された？



介護施設での清掃仲間と

この仕事を始めて、老後について

考えさせられる。介護施設は基本上げ膳据え膳である。が、楽な様で実は苦痛なのかも……。人と接し、頭を使い、身体を動かし、汗をかく、この機会が極端に少ない。これが老化を速めている。特に男性に多いようだ。女性は話し相手探しが達人だ。

我、後半年で75歳、何時まで続けるか思案中である。

### 【趣味】健康づくりの一環

#### ①ウォーキング：

「歩く」、これは私にとって小学校4年生の往復6kmの登下校に始まり、以降、中学、高校、社会人（除寮生活時代）へと続き、今に至る。

最近では無理をせず7,500歩/日を目途に、県道32号鎌倉藤沢線を中心にその周辺をコースとして、真夏は炎天下を避け夕食前後の涼しい時間帯にYouTubeで演歌を聞きながら歩いている。（次項カラオケと連動）

また、ウォーキングに加えて、筋力作りの一環として、隔日に30～40回のスクワットも実施している。

#### ②カラオケ：

週1～2回、大船仲通りにある「スナック」で昼夜を問わずカラオケを楽しんでいる。

レパートリーは約1,000曲？たまには採点機能で楽しむ。

このスナックでは常連客の麻雀大会、日帰り旅行、花見などが開催され、ほぼ毎回参加している。

#### ③ゴルフ：

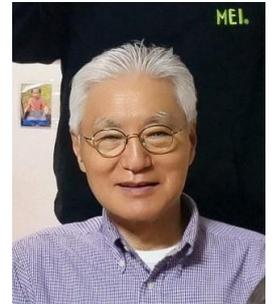
真夏（7, 8月）、真冬（1, 2月）を避け、年間8か月で15～20ラウンド程度回っている。最近はスコアも90台が多く、上達を目指すというより深緑の景色と芝生を踏む心地良さを楽しんでいる。

#### ④その他：

他には三菱電機時代の先輩方と2か月毎の情報交換会、中学時代の首都圏在住者による半年毎の同窓会、年一度の帰省墓参り、娘家族とのふれあい、TVドラマ鑑賞・等と充実している。

### 【最後に一言】

入社以来55年間、「芸は身を助く」と申します。私の人生、拙く、幼稚な芸？ですが、これまで随分助けられた気がします。暇がある方、私と一緒にゴルフ、カラオケ、ウォーキングしませんか？連絡お待ちしております。



ある日の採点結果

「会社辞めたら何すんの？」リタイア前によく聞かれ、その度に「ゆっくり船旅したいな～」とあいまいに答えていました。そんな時、海外の船旅専門会社を紹介され、超お得なツアーを発見。ネット予約が見る間に埋まるのを尻目に、スマホ予約の入力のスピードで打ち勝ち、国内の旅行会社の約4分の1の費用で、夢に見た豪華客船の旅が急に決まりました。目的地は台湾の往復9泊10日の旅。横浜を出航し、清水(行き)と那覇(帰り)に寄港するだけで、あとは海の上で過ごすコースです。

GW初日、真っ青な空の下、港にそびえるクイーン・エリザベス号の姿に思わず息を呑みます。白と紺の船体が青空を背景に静かに佇む姿は、海に浮かぶ豪華ホテルそのものです。乗船後、チェックインを済ませ、キャビンに入ると、ベージュ基調の落ち着いた内装。あと9泊はパッキング不要です。窓の外は静かな海が広がっています。

これから始まる一人の船上生活に少し緊張しつつも、デッキに出て潮風を浴びると、大変な事前準備をこなして無事船に乗れたことで、やっと心が軽くなっていくのを感じます。「これから本当に一人船旅に出るんだ」と実感がわく瞬間でした。デッキに出て木のベンチに腰かけると、潮風が心地よい。ベンチには“Queen Elizabeth”の文字。初代から100年の歴史を誇る船会社の伝統を感じます。



夜の食事は、毎日異なるテーマの各々4〜5種類ずつあるスープ、前菜、サラダ、メイン、デザート、コーヒーから選びオーダーします。

特にメインで気に入ったのが下の写真のロースステーキ・バイヤール、仔牛のパイ包み焼き、またある日のラムとポークのローストでした。

この船の旅では、毎晩の食事のテーブルは決まっています、最初の日から最後の日まで同じ顔ぶれで



ロースステーキ・バイヤール



仔牛のパイ包み焼き



ラムとポークのロースト

過ごします。最初のうちは、みんな少し緊張した面持ちでしたが、時間がたつにつれて笑顔が増えていきました。毎晩のディナーでは、その日のイベントや観光の話題でテーブルが賑わい、「昨日ショーはご覧になりました？」とか、「明日の寄港地ではどこに行きますか？」と会話が自然に弾みます。イベントの前日には、「明日はどんな服装にしますか？」と相談しながら笑い合うようになり、いつの間にか、一人旅が友人と旅をしているような錯覚を起こす関係になっていました。

船という限られた空間の中で、同じ時間を共有し、互いの物語を少しずつ知っていく。そうした出会いこそが、一人の船旅でも魅力的にしていると感じました。ちょっとクセになりそうですね。

船上生活に馴染んでくると、毎日が自分のリズムで動き出します。朝は早く起き、デッキを歩いて心地よい潮風を味わって朝食へ。

無料のビュッフェはいつも大混雑です。ただ、私はあえて静かなバーでの朝食を選びます。グラスの中のブラッディメアリーを傾

け、海を眺めながらゆっくりとした時間を過ごします。オムレツにはハラペーニョを少しだけ、トーストにはスモークサーモンをのせ、焼いたトマトの酸味でさっぱりいただきます。朝日が海面を照らすのを見ながら食べる一皿は、陸のどんな高級ホテルの朝食よりも贅沢に感じられました。



\*船でのお酒は乗船前に全て一括支払い済です。朝の海は、少しずつ表情を変え、薄雲が通り過ぎれば銀色、陽が差せば透明に近い青へと装いを変えます。

昼前には、展望デッキにあるバーへ向かいます。



船の最上階に位置し、全面ガラス張りの窓からは空と海の境目がどこまでも続いています。半分屋外なのでここでも潮風を感じながら、ジントニックを一口。ゆっくりと氷が溶けていく音が、まるで時間の流れそのものようです。誰にも急かさず、ただ空と海に包まれるような感覚に、自然にリラックスしてしまいます。

夜は、いつものメインダイニングも素晴らしいのですが、この日は少し贅沢をして船内のステーキハウスへ行きました。オードブルのエビのカクテルがとても美味しく、続くステーキは香ばしい焼き加減のレアに。ナイフを入れると肉汁がじんわりと広がり、グラスの赤ワイ



ンと見事に調和します。デザートはメレンゲクリームとジェラートまで、まさに至福のひとつときでした。やっぱり船旅の食事は、重要な魅力ポイントですよ！



船内では毎日のようにイベントがあります。この日はビンゴ大会。ビンゴカード綴りを買っていざ！ビンゴの景品は現金なので、実はビンゴはカジノなのです。\*英国船籍なので公海上は、カジノが合法。前回は遅刻して参加できなかったのですが、今回は一番前に席を取り、カード綴りを握りしめ意気揚々と参加しました。しかし結果は惨敗。ビンゴにはかすりもせず「やはり甘くない..」と勝負の厳しさを実感。海のような深いため息をつきながら会場を後にし、その後リベンジする機会はありませんでした。



そんな中で迎える重大イベント「ガラ・イブニング」。毎回テーマに合わせたドレスコードがあります。航海の最後のテーマは「マスカレード(仮面舞踏会)」。この日は仮面をつけ、フォーマルで身を包みます(踊ったりしませんが)。会場では皆ノリノリなので、どんどんお互いの笑顔が増えています。

プロのカメラマンの指示でポーズを取った少し照れた写真は、旅の記念というより、人生のご褒美として船旅で過ごした非日常の経験と充実感を味わった証と感じます。



そして今は、2026年、2027年の船旅パンフレットを眺めながら、次の航海を想像しています。どんな海が次の自分を待っているのでしょうか？

かつては宮本武蔵や清水次郎長など実在した人物を基にした時代劇が人気を集めました。米国でも実在した保安官ワイアット・アープとその友人ドク・ホリデイを題材にしたものなどを含め多数の西部劇が製作されました。その背景は1860年代から1890年代後半頃の西部開拓時代です。

西部劇の王道は主人公と敵対する勢力との争いを銃で解決するものです。決着をつける戦いが見せ場であり、男性向けの仕立てでの決着が爽快です。ここでは特に印象に残った西部劇を4本紹介します。

#### (1) 駅馬車 1940年 主演：ジョン・ウエイン

アリゾナからニューメキシコへ向かう駅馬車に、様々な事情を抱えた男女が乗り合わせる。道中でお尋ね者のリンゴ・キッドも乗り込み目的地に向かう。騎兵隊の護衛が無い駅馬車へのネイティブ・アメリカンの大襲撃を乗客とリンゴ・キッドの大活躍でやっと逃れて、着いた町でリンゴ・キッドが肉親の仇である3人の無法者を決闘で倒し復讐を果たす。

##### 【印象的場面】

ジョン・フォード監督の代表作です。駅馬車の切迫感、ネイティブ・アメリカンとの激闘、6頭立て駅馬車で逃げるシーンのスピード感、絶体絶命のピンチで到着する騎兵隊。着いた町で3発の銃弾しかないリンゴ・キッドと待ち構えた3人の無法者との決闘など西部劇の醍醐味を十分に味わうことができる。

#### (2) 荒野の決闘 1946年 主演：ヘンリー・フォンダ

1881年に実際に起きた「OK牧場での銃撃戦」を題材に、保安官ワイアット・アープと賭博師ドク・ホリデイとの関わり、そして仇敵クラントン一家との戦いを描いた。ワイアットの末弟がクラントン一家に殺され、残る2人の兄弟とともに町の保安官になったワイアットは、クラントン一家を倒す決意をする。これにドク・ホリデイが加勢し、銃撃で決着をつける。この映画はドク・ホリデイの愛人など西部劇としては丁寧に女性を描写している。監督のジョン・フォードは若い頃に晩年のワイアット・アープと実際に会ってOK牧場の銃撃戦の様相を聞いたそうだ。

国内外の映画に精通していた黒澤明監督が100本の名作を選出した中にこの映画を入れて激賞した。

##### 【印象的場面】

射撃の名手ワイアットと命知らずのドク・ホリデイは互いを認めているが、やり方が気に入らない場

で幾度か対峙する。そこに一触即発の凄い緊張感が走る。

#### (3) シェーン 1953年 主演：アラン・ラッド

南北戦争後の西部で、広大な牧草地を使用して牛を放牧していた横暴な大牧場主ライカーは、参入して来た開拓農民達が開拓地を囲って農地にするのを嫌って暴力で追い出そうとしていた。開拓農家ジョーの家に身を寄せることになった流れ者のシェーンがその恩義から、大牧場主が雇った早撃ちガンマンなどの暴力にたった一人で立ち向かう。設定はシンプルだが、銃撃戦だけでなく流れ者シェーンとジョー一家の少年及びその母親との交流が描かれている。

##### 【印象的場面】

酒場で決着をつけたシェーンが、少年と別れて旅立つ時の抒情的なシーンと流れる音楽が感動的である。さらに少年の犬と酒場に住み着いた犬が、いつも危険を察知したかのような動きをすることが面白い。

#### (4) 真昼の決闘 1952年 主演：ゲイリー・クーパー

西部の小さな町で結婚式を挙げたばかりの保安官ウイルのもとに、以前逮捕した無法者が仕返しのために今日12時に到着する汽車で町にくると連絡が入った。その無法者の仲間3人が合流するため駅に向かう。保安官としての責任感と自尊心から、ウイルは逃げずに戦う決意をして町の人達に助太刀を依頼するが、しり込みして協力者がいない。新婦のエミーは戦いによる解決を否定し町を去ろうと言うがウイルは無法者4人と戦う。西部劇のヒーローは命がけの銃撃戦に敢然と立ち向かうが、この保安官は悩み、新婦は信仰にも拘らず思わず銃を用いて協力する。

##### 【多くの話題を提供】

- ・当初は米国映画会社社長が酷評し配給を断った。
- ・ロードショーは10:30上映とし、汽車が到着し決闘する劇中の12時と実時刻12時とを合わせた。
- ・米大統領アイゼンハワー、レーガン、クリントンなどがこの映画を好んだそうだ。
- ・公開の約50年後に米国映画ベスト100に選出。
- ・美人新婦役のグレース・ケリーは後にモナコ公妃に。

いずれも50年以上昔に見て感激した映画で、DVDで再確認したりして再び楽しみました。書いていると映画の事を次々と思ひ出します。



【第33回総会報告】

1. 日時 6月8日(日) 10:00~11:00
2. 場所 鎌倉芸術館3階 会議室1
3. 総会の成立 出席者47名 委任状67名  
合計114名で会員146名の過半数

馬場副会長の開会の辞に始まり昨年度の物故者の方々に対する黙祷を捧げました。木村会長が欠席のため会長に代わって副会長より開会挨拶があり、続いてご来賓の方々のご紹介を行い、ご祝辞をいただきました。今回は三菱電機照明株式会社より会社概況と工場再編成についてパワーポイントを使い丁寧にご説明をいただきました。

ご来賓の方々には、以下の通りです。

情報技術総合研究所 総務部長 加藤 新一郎 様  
 統合デザイン研究所 D戦略部長 河原林 源太 様  
 三菱電機照明株式会社 総務次長 吉川 剛 様  
 労働組合東部研究所支部 委員長 飯島 昌平 様  
 書記長 川崎 健吾 様

各議案について担当役員より報告及び提案がなされ、出席者の賛成多数により、何れも承認されました。

- 第1号議案 2024年度活動報告
- 第2号議案 2024年度会計報告及び  
2024年度年度会計監査報告
- 第3号議案 2025年度活動計画
- 第4号議案 2025年度予算

続いて、第5号議案 2025年度役員について川崎労働支部書記長様より次の通り推薦があり、出席会員の賛成多数により承認されました。

会長 木村 允紀 (再任)  
 副会長 馬場 景一 (新任)  
 事務局長 馬場 景一 (新任)  
 会計 伊藤 善貞 (再任)  
 幹事 皆川 良司 (再任) 小玉 繁 (再任)  
 田口 彰一 (新任)  
 顧問 萩原 大義 (再任) 富山 勝己 (再任)  
 会計監査 丸屋 完 (再任)

以上で総会を終了しました。



総会会場の様子

【春の懇親会報告】

1. 日時 6月8日(日) 11:30~13:30
2. 場所 鎌倉芸術館3階 集会室
3. 参加者 58名(会員47名、来賓11名)

総会が順調に進み30分早く終了したため準備いただいている方々に無理をお願いして12時の予定を11時半から開宴としました。懇親会には、総会にご出席いただいたご来賓と鎌倉地区の退職者の会幹部の方々にもご出席いただきました。

馬場副会長の開宴宣言の後、矢田さんの乾杯のご発声で開宴しました。各テーブルにはお弁当・おつまみとビール・日本酒が用意されていました。他に銘酒が多数あり、皆さん何回も受取りに行き楽しんでいました。

今回の懇親会ではお酒の消費量が何時もより多く日本酒はほぼ飲みきり、ビールは追加してもらいました。また話が弾んで立ったままで懇親を深めている方々が多く見られ楽しい懇親会でした。スナップ写真でその様子をご覧ください。



懇親会の様子

9月の暑さがようやく落ち着き、10月最初の月曜日朝8時半、集合場所にみんなが集まり、わくわくした気持ちでバスは出発しました。最初の休憩は「海ほたる」。吹き抜ける風が心地よく、夏の名残を感じながら、コーヒーを片手に一息つきました。そこから外房方面へ向かい、昼食は楽しみにしていた海鮮浜焼きセット。エビ、イカ、ホタテ、サザエ、はまぐりを各自の網に並べ、焼ける音と香りに食欲が一気に刺激されます。焼き立てを頬張りながら、冷えたビールをひと口。思わず「うま〜！」と声が出てしまいます。



昼食後は軽くお土産屋のぞき、一路鴨川シーワールドへ。入場してすぐは水族館で、美しく泳ぐ珍しい魚たちを見学し、そしてお待ちかねのメインイベントはシャチのショーです！

迫力あるジャンプと水しぶきに歓声が上がり、客席まで届く海水のしぶきで頭からずぶ濡れでもみんな笑顔です。キラキラ輝く水しぶきがなんとも爽快でした。笑顔と拍手に包まれた時間はあっという間に過ぎて、帰り道は秋の香りを感じる楽しくも驚きの1日でした。



リタイヤ後ボケ防止と健康維持のため趣味活動の一環として写真撮影に取り組んでいます。

撮影対象は風景写真ですが、特に山岳写真(北アルプスの山並みと逗子葉山からの相模湾越しの富士景色)に注力し撮り続けています。

湘南の海から見る富士景色、もう30年来飽きもせず撮り続けている題材で私のライフワークになっております。富士山はその美しい山容から多くの人々に好まれ、日本人にとって特別な存在です。

しかし、その富士風景は希に(私の場合年に2~3回程度遭遇)想像を絶する様相を示します。私はこれを「サプライズな風景」と名付け追いつけております。表紙の写真はその1枚で、「富士山第11回フォトコンテスト2024年」金賞受賞作品です。富士山の地理的条件に特殊な気象条件が絡み合い、極短時間現れるこのサプライズな風景、私にとって一期一会で、スキル全開でシャッターを押し続けます。まさに至福の時間です。

今後も撮影に感動を感じる間は撮り続けて行こうと考えております。

事務局 会員動向・編集後記

■会員動向(敬称略)(2025.4.1~2025.9.30)

- ・会員数: 139名(前回ご報告から14名減員)
- ・入会者: 4名  
松下 雅仁、三嶋 英利、岩下 裕英、鶴 薫
- ・退会者: 13名 会則による退会4名、他9名  
大八木 真、足立 吉弘、石塚 幹夫、鈴木 勝利、桜井 貫智、塩谷 俊夫、菊池 満、小倉 基、大須賀 通孝
- ・物故会員: 5名  
安西 克巳、宮崎 賢治、竹田 俊幸、山崎 斉、岩沢 千代松  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■編集後記

第55号も無事に発刊することができました。寄稿いただいた皆さまありがとうございました。表紙は素晴らしい写真を提供いただきました。表紙の集合写真は次号となります。寄稿をお待ちしています。

■桜船会 URL <http://www.ousenkai2013.com/>

編集責任者: 皆川 良司  
編集者: 田口 彰一、柳 正  
印刷所: (株)さんこうどう

